

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	令和3年度にしく市民活動支援センター運営事業	
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人市民セクターよこはま
	行政	西区役所 地域振興課
事業の目的	市民公益活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上による豊かな地域づくりを図ること。	
事業の内容	市民公益活動に関する相談対応、情報提供・発信、活動の場（轻易な打合せスペース等）の提供、地域人材ボランティアバンク事業に関すること、区民利用施設等との連携による活動支援や団体運営の支援など	
役割及び責任分担等	次頁のとおり	
実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日	

記入日	令和4年5月20日
記入者	<p>[団体等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体等名： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま</li> <li>・記入責任者 氏名： 加世田 恵美子 連絡先： 045-620-6624</li> </ul> <p>[行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部署名： 西区役所地域振興課</li> <li>・記入責任者 地域振興課長 氏名： 畠山 久子 連絡先： 045-320-8393</li> </ul>

## 役割及び責任分担等

事業項目	受託者の役割	委託者の役割
にしく市民活動支援センターの管理運営に関すること	1 設備の管理 2 軽微な維持修繕	1 設備の提供 2 設備の管理に関する調整及び協力
にしく市民活動支援センター事業に関すること	1 市民公益活動等のネットワーク化 2 市民公益活動等の相談対応 3 市民公益活動等に関する情報提供・発信 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施 6 区民利用施設等との連携による活動支援 7 自主企画事業の企画・実施 8 西区地域づくり大学校及び地域活動者の交流の機会づくり 9 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援	1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力 2 市民公益活動等の相談対応についての調整及び協力 3 市民公益活動等に関する情報提供・発信についての調整及び協力 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力 6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力 7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力 8 西区地域づくり大学校及び地域活動者の交流の機会づくりについての調整及び協力 9 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援についての調整及び協力
事業改善に関すること	1 利用者のニーズ把握とサービス向上 2 運営事業団体として必要になる事業の検証 3 横浜市として必要になる事業の検証への協力	1 利用者のニーズ把握とサービス向上についての調整及び協力 2 運営事業団体として必要になる事業の検証への協力 3 横浜市として必要になる事業の検証
その他支援センターの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること	1 利用統計 2 運営事業団体として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究 4 その他、区が行う市民公益活動等に関する施策・事業への協力	1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力 4 横浜市役所内部の連絡調整

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

#### 事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できしたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

##### 【共有できしたことや認識に違いがあったこと】

- ・毎月の定例会議を通して、にしとも広場利用者情報や地域活動状況を共有することにより、地域のニーズに則した生涯学習講座を計画することができた。
- ・年度当初に双方の予定事業について共有し、お互いの強みや協働の方向性を確認することができた。
- ・引き続き、感染症対策が求められる中、オンライン開催を効果的に取り入れたセンターの事業実施計画を共有していただいたことで、区でもオンライン開催を取り入れることができた。また、時々に応じた情報共有を行うことで、スムーズなセンター運営につなげることができた。

##### 【今後改善が必要と思われること】

- ・センターと地域振興課双方の役割を改めて整理し、センター、区、学校、区民利用施設のさらなる連携強化を図る。
- ・健全な施設運営のため、引き続き感染症対策を講じながら、時々に即した事業運営が求められる。

#### 事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できしたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

##### 【共有できしたことや認識に違いがあったこと】

- ・センター主催の事業に地域振興課職員がオブザーバー参加した他、地域振興課主催事業にセンターにも参加・協力をいただくことで、相互の事業内容をより深く理解することができた。
- ・特に、地域振興課主催の「にしくスマホサポーター」養成講座（全3回の連続講座）の実施にあたっては、1回終了ごとに実施状況をセンターに共有し、助言や協力をいただくことで、より良い事業実施へつなげることができた。

##### 【今後改善が必要と思われること】

- ・引き続き、双方の事業実施にあたって密に情報共有を行うほか、事業実施後の活動支援についても、センターと区の協力体制を整える必要がある。
- ・地域振興課事業で養成したボランティアについても、センターにつないでいく必要がある。
- ・にしとも広場のもつ情報・ネットワークを区役所内で共有し、更に活用してもらうため、区役所各課に向けてのにしとも広場の周知や情報発信の方法について検討する必要がある。
- ・同じ区庁舎内にある施設として、にしとも広場も区民の安全確保のため避難訓練に参加し、発災時の対応や協力に関して確認する必要がある。

## 事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・毎月の定例会議を通して、にしとも広場利用者情報や地域活動状況を共有することにより、地域のニーズに則した生涯学習講座を実施することができた。
- ・「にしくスタイル」の日替わりブースに出展していただき、感染症対策を行いながら、地域振興課とにしとも広場が連携して、にしとも広場の活動PRを行うことができた。
- ・地域振興課主催の「にしくスマホソーター」養成講座では、計画の段階からセンターと情報共有し、センターから助言や協力をいただくことで、感染症対策が続く中でもオンライン開催で全3回を実施することができた。また、次年度以降の継続的な活動につなげられるよう、講座受講者の意見交換会の場の提供に向けて検討することができた。
- ・にしとも広場主催の「好きなもん広場」について、西区在住・在勤の方が「好きなこと」「やりたいこと」でつながるきっかけ作りとなるとともに、区職員も参加・協力することで、事業成果や区民ニーズを共有することができた。
- ・感染症対策のため、にしとも広場の利用人数制限が続くなか、区役所内会議室を適宜手配することで、事業のスムーズな運営、利用者満足につなげることができた。
- ・地域振興課が主催する意味、にしとも広場と共に協働する意味を、双方で確認することができた。

## 自由記入欄

- ・新型コロナウイルス感染症拡大が続く一年となったが、オンライン会議などを効果的に活用することで、感染症対策を取りながら講座や交流の場を設けることができた。
- ・引き続き、相互のネットワークや情報を共有し、より効果的な協働事業の実施を目指す。